

Kurume College		Year	2022	Course Title	Internship
Course Information					
Course Code	6C25		Course Category	Specialized / Elective	
Class Format	Practical training		Credits	Academic Credit: 2	
Department	物質工学専攻（生物応用化学コース）		Student Grade	Adv. 1st	
Term	Year-round		Classes per Week	1	
Textbook and/or Teaching Materials	実習内容に関する文献、資料など				
Instructor	川上 雄士				
Course Objectives					
1. 技術が社会に及ぼす影響・効果、および技術者が社会に対して負っている責任が理解できる。 2. 実験などを計画・遂行し、その結果を解析し、工学的に考察することができる。 3. 該当分野の専門技術に関する知識を得て、それらを問題解決に応用することができる。 4. 日本語による論理的な記述を行ったり、口頭発表や討議などを通してコミュニケーションを図ることができる。 5. 自主的、継続的に学習することができる。 6. チームで仕事をすることができる。					
Rubric					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	技術が社会に及ぼす影響・効果、技術者が社会に対して負っている責任を十分に理解できる。		技術が社会に及ぼす影響・効果、技術者が社会に対して負っている責任を理解できる。		技術が社会に及ぼす影響・効果、技術者が社会に対して負っている責任を理解できない。
評価項目2	実験などを適切に計画・遂行し、その結果を的確に解析し、工学的に十分考察することができる。		実験などを計画・遂行し、その結果を解析し、工学的に考察することができる。		実験などを計画・遂行できない。結果を解析し、工学的に考察できない。
評価項目3	該当分野の専門技術に関する知識を深く習得し、それらを問題解決に的確に応用することができる。		該当分野の専門技術に関する知識を得て、それらを問題解決に応用することができる。		該当分野の専門技術に関する知識を習得できない。それらを問題解決に応用できない。
Assigned Department Objectives					
JABEE G					
Teaching Method					
Outline	本学科と専攻科で学んだ工学的知識や技術が、実践的にどの程度応用できるかを、企業等におけるインターンシップで経験し、実践的技術者としての資質を高めることを目的とする。各学生は企業からの評価を受け、その結果を参考にし、学生の自己啓発および専攻科の教育改善を促す。 実務経験のある教員による授業科目：この科目は、実務を行っている企業の担当者が、その経験を活かして行う授業である。				
Style	提示したインターンシップ受け入れ機関の中から、学生の希望と諸条件を考慮して、配属先の引き受け機関を決定する。実施時期は休業期間中の3週間以上を原則とする。企業や研究機関などにおいて実際の業務に従事する。担当教員は、学生の状況を把握するとともに、実施機関の引き受け責任者と連絡を密にする。学生は、インターンシップ終了後に報告書及び実施機関の引き受け責任者が記入・封印した評定書を提出する。				
Notice	令和4年度は開講については未定。				
Characteristics of Class / Division in Learning					
☐ Active Learning		☒ Aided by ICT		☐ Applicable to Remote Class	☒ Instructor Professionally Experienced
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	機械部品等の組立や鋳造・加工等による製作・製造実習	機械部品等の組立や鋳造・加工等による製作・製造実習ができる。	
		2nd	CAD等を用いた図面の作成や修正等の実習	CAD等を用いた図面の作成や修正等の実習ができる	
		3rd	取扱操作の説明書や作業マニュアル等の作成実習	取扱操作の説明書や作業マニュアル等の作成実習ができる。	
		4th	製造業や研究機関における事務・工程管理・研究・開発等の業務実習	製造業や研究機関における事務・工程管理・研究・開発等の業務実習ができる。	
		5th	化学的な定性・定量分析機器や設備等を使った操作実習	化学的な定性・定量分析機器や設備等を使った操作実習ができる。	
		6th	結晶学的・組織学的情報を取得するための機器や設備等の操作実習	結晶学的・組織学的情報を取得するための機器や設備等の操作実習ができる。	
		7th	機器や設備等で得られた物性や諸物性等の分析・解析実習	機器や設備等で得られた物性や諸物性等の分析・解析実習ができる。	
		8th	TQCや改善提案活動等に関する実習	TQCや改善提案活動等に関する実習ができる。	
	2nd Quarter	9th	実験・試験・測定データ等の整理や報告手法等の実習	実験・試験・測定データ等の整理や報告手法等の実習ができる。	
		10th	ワード・エクセル等による実験、解析レポート等の作成実習	ワード・エクセル等による実験、解析レポート等の作成実習ができる。	
		11th	計算プログラムの作成実習	計算プログラムの作成実習ができる。	
		12th	製品や製造工程中の品質検査実習	製品や製造工程中の品質検査実習ができる。	
		13th	5S活動の実習	5S活動の実習ができる。	
		14th	報告書及び最終報告書の作成	報告書及び最終報告書の作成ができる。	
		15th	インターンシップ報告会の準備と口頭発表等、各実施期間で定めた内容に従った実習	インターンシップ報告会の準備と口頭発表等、各実施期間で定めた内容に従った実習ができる。	
		16th			

2nd Semester	3rd Quarter	1st		
		2nd		
		3rd		
		4th		
		5th		
		6th		
		7th		
		8th		
	4th Quarter	9th		
		10th		
		11th		
		12th		
		13th		
		14th		
		15th		
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	企業の評定書	報告書	発表会	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	0	40	20	40	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	40	20	40	0	0	100